

調達物品の内訳

※○：対象、×：対象外

No	品名	数量	メンテナンス	代替品
1	ビデオシステムセンター	1	○	○
2	27型4K液晶モニター	1	×	×
3	内視鏡用架台	1	○	×
4	耳鼻咽喉ビデオスコープ（細径）	1	○	○
5	耳鼻咽喉ビデオスコープ（ハイビジョン）	1	○	○
6	耳鼻咽喉ビデオスコープ（処置用）	1	○	○

調達物品に備えるべき技術的要件  
(性能、機能に関する要件)

- 1 ビデオシステムセンターは、以下の要件を満たすこと。**
  - 1-1 先端湾曲ビデオスコープ、硬性ビデオスコープ、軟性ビデオスコープを同一のシステムにて制御可能であること。
  - 1-2 自動調光の側光方式を3段階で切り替え可能であること。
  - 1-3 構造強調および輪郭強調のレベルを切り替え可能であること。
  - 1-4 通常光観察に加えて狭帯域光観察(NBI観察)が可能であること。
  - 1-5 映像出力端子はSDI、DVI、Y/Cを有していること。
  
- 2 27型4K液晶モニターは、以下の要件を満たすこと。**
  - 2-1 3840×2160ピクセルの解像度を有していること。
  - 2-2 アスペクト比が16:9であること。
  - 2-3 DVI、SDI信号をそれぞれ1系統以上搭載していること。
  - 2-4 医用電気機器規格に適合するように設計されていること。
  - 2-5 モニター重量は10kg以内であること。
  
- 3 内視鏡用架台は、以下の要件を満たすこと。**
  - 3-1 外形寸法は1,800mm(高さ)×650mm(幅)×700mm(奥行)以下であること。
  - 3-2 絶縁トランスが搭載されていること。
  - 3-3 質量が無積載、絶縁トランス取り付け時100kg以下であること。
  
- 4 耳鼻咽喉ビデオスコープ(細径)は、以下の要件を満たすこと。**
  - 4-1 視野角が90°以上であること。
  - 4-2 先端部外径が2.6mm以下であること。
  - 4-3 湾曲角がUp/Down130°以上であること。
  - 4-4 狭帯域光観察に対応していること。
  - 4-5 軟性部外径が2.9mm以下であること。

**5 耳鼻咽喉ビデオスコープ(ハイビジョン)は、以下の要件を満たすこと。**

- 5-1 視野角が $110^{\circ}$  以上であること。
- 5-2 先端部外径が $3.9\text{mm}$ 以下であること。
- 5-3 湾曲角がUp/Down $130^{\circ}$  以上であること。
- 5-4 狭帯域光観察に対応していること。
- 5-5 軟性部外径が $3.6\text{mm}$ 以下であること。

**6 耳鼻咽喉ビデオスコープ(処置用)は、以下の要件を満たすこと。**

- 6-1 視野角が $90^{\circ}$  以上であること。
- 6-2 先端部外径が $4.8\text{mm}$ 以下であること。
- 6-3 上下、左右4方向に湾曲可能であること。
- 6-4 鉗子チャンネル径を1つ有し、 $2.0\text{mm}$ 以上であること。
- 6-5 狭帯域光観察に対応していること。